



日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

95.4.27 4180

営業合理化対策会議の参加者からは、「自動改札・精算機の導入で出札の業務が増える。」

四月一三日、営業分科会は、「自動改札機の導入拡大」提案や「店舗の廃止・移管」の計画を受けて、合理化対策会議を開催した。会議には、自動改札機導入当該駅の組合員や営業分科会役員が集まり、対策を検討した。

「出来るところは全て合理化することを行い、その矛盾と犠牲は現場の労働者に押しつけられている。」電話も取れない。「第三者加害が増えた。」という現場の声や「行き先などの問い合わせを行うおうえにも職員がいない。」との旅客の声を無視する合理化が強行されているのである。

JRの大合理化攻撃を組合員の討議を重ね、団結してはねかえそう！

「自動改札・精算機は故障やトラブルが発生すると時間を取られる。」「A駅では、営業係の二人には出札をやらせないことが一年続いている(以前は営業指導も営業係も区別なく出札を行っていた。)」営業係は国労組合員であり、自動改札機導入に伴い二名が削減対象となつているが、営業係の二名が配転対象になるのではないか。これは組合差別ではないのか。「店舗等が廃止になつたら、どこにたらい回しにされるのか」などの意見が出された。

会議では、当面の攻撃に対し、対策会議の強化と団体交渉の強化を確認し、全力で対決することとした。

営業分科
営業合理化のサイ
討議案め、団結固め、
対策会議、反撃へ。

選挙叩きの勝利をバネに、反転攻撃勢を強めよう



元気な！ 館山支部 家庭会総会 叩く
4月9日 新役員選出

館山支部家庭会総会を、四月九日(日)九時三〇分より開催しました。

始めに館山市議会議員・辻田実氏のあいさつの後、(辻田実さんは、四月二三日の館山市議会議員選挙において当選を勝ちとりました)支部長、家族会担当者がそれぞれ現状報告を行い、続いて館山保健推進員の鈴木、吉田さんにより

り、「骨粗鬆症」について講演を受けて、直ちに「太巻寿司」の実技に入り、その時分たちが作った手作りの寿司で昼食し、役員改選しました。

会 長 渡辺 祥子
副会長 鈴木 友子
会 計 小磯 照美

以上のように決定し、今後一年間支部家庭会運動を担っていきます。

(支部通信員発)